

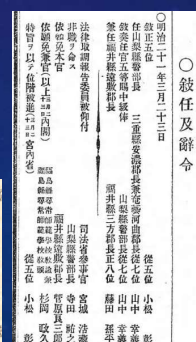
天童市ってどんなところ？

- 天童市という名前は、かつて天童市の象徴とも言われる舞鶴山に、天から二人の童子が舞い降りてきたという言い伝えが由来とされている。
- 山形県の東部にあり、雄大な自然や山々に囲まれながらも、2本の国道の交差点であり、山形空港まで約10分でアクセスでき、また天童駅には山形新幹線が停車するなど非常に利便性のよい土地でもある。
- 市内には温泉も湧いており、温泉、活発な農産物をはじめとする食、そして織田氏と関わりの深い歴史と、観光面でも魅力の多い場所である。
- さらに住環境の整備にも力を入れており、子育て支援政策にも力を入れている。
- 明治大学創設者の一人である宮城浩蔵 先生の出身地でもある。
(このことが縁で2010年に明治大学との連携協定を締結)



宮城浩蔵 プロフィール

- 1852年、出羽国にて天童藩士の家に生まれる
- 西洋兵学を学ぶため上京、箕作麟祥(ジョン万次郎にも学んだ英学者)に師事。
- 1876年、貢進生に選出され、大学南校を経て司法省明法寮を卒業後、仏リヨン大学にて法学士号を取得。
- 1880年、帰国後、司法省参事官となる。(右画像は官報より)
- 1881年、明治法律學校を創設。
- 1890年、刑法改正案起草委員となる。第一回衆議院選挙に山形1区で当選。
- 1894年、逝去。
- 主な著書に『刑法講義』(1885年)『刑法正義』(1893年)がある。



天童市にとっての宮城浩蔵

- 天童市は宮城先生の故郷。様々なところで宮城先生に関する展示も見られる。
- 胸像
旧東村山郡資料館(後に紹介する「天童への史跡」参照)には宮城先生の胸像。
旧家と思われる武家屋敷方面を向いています。
- 博物館のコーナー展示
天童市にゆかりのある人物としてコーナーも。
- 学習支援室
天童駅前の一室にある天童市の青少年が勉強出来る学習室には宮城先生の写真も飾られている。



ふるさと納税

- 平成29年度の寄付総額は約29億円(全国14位)
- さくらんぼ、もも、ぶどうなどのフルーツや将棋駒、日本酒等を返礼品としている。その狙いとして、「市の認知度の向上」や「地場産業の振興」がある。
- 寄付金を「将棋のまちの振興」、「水と緑と景観の保全」、「天の童の育成」、「障がい者及び高齢者福祉」、「スポーツと文化の振興」、「地域振興と交流の拡大」などの事業に活用している。
- 近年、寄付金によって現代的な飾り駒を開発した。



子育て支援

- 第3子以降保育料無料化、0歳から高校3年生までの医療費無料化、第3子以降学校給食費無料化など、育児・保育サービスが充実。
- 保育の受け皿の拡大として、新たな保育施設・学童保育所の開所を予定。
- 子育て未来館「げんキッズ」(写真)を設立。子供の遊び場・幼児の一時預かりルームが提供されているほか、ヨガ教室やバレエ教室なども開講されている。年間利用者は約30万人。
- 遊び場は年齢によって分けられており、発達段階に配慮されたつくりになっている。



天童市の「食」

天童市は農業が非常に盛んであり、さくらんぼ、ラフランス、ぶどうなどの果物をはじめ、お米の生産も行われている。またブランド牛である「天童牛」などの畜産業にも力を入れている。

今回訪れた天童の食スポット

1. 手打 水車生そば

文久元年(1860年)創業の地元でも有名な老舗そば屋。山形県内外で話題のご当地グルメ中華発祥のお店でもある。ここでは食事のみでなくそば打ち体験ができ、自分で打ったそばを食べることもできる。

2. 王将果樹園

さくらんぼ、もも、ぶどうなどの果物を育てており、年間を通して果物狩りを楽しむことができる。採った果物をその場で食べられるだけでなく、併設されているカフェスペースでは季節のフルーツをふんだんに使ったパフェやソフトクリームを食べることができる若い世代にも話題のスポット。



天童と将棋



天童の将棋について

- ・天童の将棋駒は全国の将棋駒生産の大部分を占めている。
- ・将棋駒産業の起こりは、江戸末期、小藩だった天童織田藩の下級藩士が、家計を補うために内職として始めたことに由来する。
- ・現在も製作所や販売店、資料館、モニュメントなど将棋の駒に関する施設が多くある。また、天童の街中には将棋駒や板をかたどった装飾が数多くある。

将棋に関する様々なイベント

- ・二千局盤来 10月14日(日)
→4000人同时对局をし、ギネスを目指すイベント。
- ・人間将棋
→「天童桜まつり」で毎年4月に催される。
人間を駒に見立ててプロ棋士が将棋指すイベント。
今年は全国から五万人の将棋ファンが集まった。



天童の史跡

天童市立旧東村山郡役所資料館

- 織田信長の次男が祖となっている直系子孫で織田氏宗家である天童織田藩関連資料や明治維新前後の資料を中心に240点余りを展示している。
- ・明治天皇の行在所としても使われた由緒ある建造物である。
- ・我らが明治大学創設者の一人である宮城浩蔵先生の銅像がある。
- ・レトロな雰囲気でもとてもお洒落。

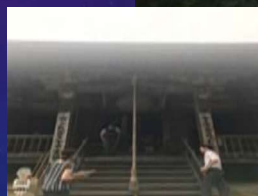
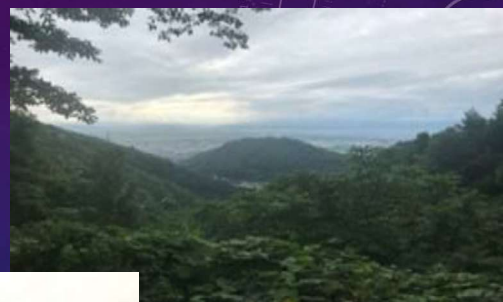
三宝寺と織田家御霊屋

- 織田宗家の菩提寺で織田信長をはじめ代々の藩主や家族の位牌などが安置されている。
- ・当時の宣教師が描いたもので、最も似ていると天童織田家に伝えられた信長の肖像画も置かれている。



・若松寺

- 良縁の神様で、全国から良縁を求めて訪れる参拝客でにぎわう。
このお寺のお坊さんと握手をすると良縁に恵まれるそうだ。
- ・地元の方の話では山形市にある立石寺で悪い縁を切って、若松寺で良い縁を結ぶのが良いそうだ。
- ・標高が高いため景色が綺麗であり、天童市が一望できる。
- ・国指定の重要文化財の「板絵著色神馬図」をはじめ、多くの絵馬が奉納されており、絵馬の宝庫としても広く知られている。



～おすすめ情報～天童駒ガイドさん

- ・モデルコースに沿って天童市内を歩き、天童の魅力を無料で教えてくれるボランティアガイドの方々のこと。
- ・私たちが滞在中たいへんお世話になり、天童の歴史、魅力について詳しく教えていただきました。
- ・なんと！コース終了後には将棋駒ストラップがもらえます。

現地での活動を通して

初めて行った天童は、自然あり、歴史あり、温泉あり、美食ありの素晴らしいところで、充実した5日間となりました。

市役所の方々の前での発表では至らない点も多くありましたが、5人で話し合っって成果物を作り、

発表させていただいたことは私たち全員にとって大きな財産となりました。

今回の活動では、事前準備、現地活動、事後活動すべての場面において多くのお力添えを頂きました。素敵の方々巡り合えたことに感謝申し上げます。

ありがとう



ございました